【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-521894(P2001-521894A)
【公表日】平成13年11月13日(2001.11.13)
【出願番号】特願2000-518661(P2000-518661)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/35　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/48　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　33/06　　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 493/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/28　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/35
Ａ６１Ｋ　 9/02
Ａ６１Ｋ　 9/48
Ａ６１Ｐ　33/06
Ｃ０７Ｄ 493/18
Ａ６１Ｋ　35/78　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成17年8月22日(2005.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　マラリア寄生虫に対して活性である物質を含有し、プラスモジウム・ファルシパルムの多剤耐性系統に対して高い活性を有する組成物であって、該組成物が、活性物質であるアルテミシニン及び／又はアルテミシニン誘導体の製薬学的有効量を、該活性物質に対して不活性である賦形剤中に含み、該賦形剤が、７～９．９の範囲内のＨＬＢ値を有する化合物を実質的に含まないことを特徴とする組成物を含む、直腸内投与用製薬学的に活性な剤型。
【請求項２】　アルテエーテル、アルテムエーテル、アルテミシン及び／又はアルテスナート、好ましくはアルテスナートを活性物質として含有することを特徴とする、請求項１記載の組成物。
【請求項３】　組成物中に存在する、７～９．９のＨＬＢ値を有する化合物が、活性物質の重量に基づいて、１０重量％以下、好ましくは５重量％以下、特に好ましくは２重量％以下の濃度を有する、請求項１又は２記載の組成物。
【請求項４】　７～９．９のＨＬＢ値を有する化合物が、組成物中に全く存在しない、請求項１～３のいずれか１項記載の組成物。
【請求項５】　４～６．９及び１０～１３の範囲内のＨＬＢ値を有する化合物の濃度が、活性物質の重量に基づいて、１０重量％以下、好ましくは５重量％以下、特に好ましくは２重量％以下であり、好ましくは、４～６．９及び１０～１３の範囲内のＨＬＢ値を有する化合物が、組成物中に全く存在しないことを特徴とする、請求項１～４のいずれか１項記載の組成物。
【請求項６】　１３．１～１５の範囲内のＨＬＢ値を有する化合物の濃度が、活性物

質の重量に基づいて、１０重量％以下、好ましくは５重量％以下、特に好ましくは２重量％以下であり、好ましくは、１３．１～１５の範囲内のＨＬＢ値を有する化合物が、組成物中に全く存在しないことを特徴とする、請求項１～５のいずれか１項記載の組成物。

【請求項７】　水素化されていてよい植物又は動物起源のろう、脂肪及び油、パラフィンろう及びパラフィン油、並びにそれらの混合物を、活性物質に対して不活性である賦形剤として用いることを特徴とする、請求項１～６のいずれか１項記載の組成物。

【請求項８】　賦形剤に対する活性物質の重量比が、賦形剤の総重量に対して５～１５％、好ましくは７～１２％、特に好ましくは８．５～９．５％であることを特徴とする、請求項１～７のいずれか１項記載の組成物。

【請求項９】　坐薬、直腸泡沫剤、浣腸剤及び直腸カプセル剤、特に好ましくは坐薬及び直腸カプセル剤の剤型である、請求項１～８のいずれか１項記載の組成物。

【請求項１０】　製薬学的活性物質を製薬学的有効量含有し、潤滑用コーティングを備えている軟ゼラチンカプセルからなる坐薬であることを特徴とする、請求項１～９のいずれか１項記載の組成物。

【請求項１１】　マラリア寄生虫、及びプラスモジウム・ファルシパルムの多剤耐性系統を制御するための、請求項１０記載の坐薬。